

事業所概要

本調査票の記入日：平成 23 年 7 月 14 日

設置・運営主体	那覇市		
設置主体	-----		
経営主体	日本赤十字社沖縄県支部		
事業所名 (施設名)	那覇市安謝福祉複合施設	種別	特別養護老人ホーム
所在地	〒 900-0003 那覇市安謝2丁目15番2号		
電話	098-862-4321	FAX	098-862-4320
Email	ajaja2152@siren.ocn.ne.jp	URL	
施設長氏名	川満 博信		
調査対応担当者	上地 照海 (所属、職名：事務課長)		
利用定員	105 (ショートステイ 5床含む) 名	開設年	平成 10 年 4 月 1 日

【職員の状況に関する事項】

① 職員体制

	総数	施設長	事務員	生活相談員	介護職員
常勤	57 名	1 名	4 名	2 名	40 名
非常勤	9 名	名	2 名	名	4 名
	看護師(准看護師)	栄養士	調理員	医師	機能訓練指導員
常勤	6 名	2 名	名	名	2 名
非常勤	1 名	名	名	1 名	1 名
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名

理学療法士	名 (名)
作業療法士	2 名 (名)
言語聴覚士	名 (名)
柔道整復士	名 (名)
あん摩マッサージ指圧師	1 名 (1 名)
介護支援専門員	2 名 (名)
社会福祉士	1 名 (名)
介護福祉士	30 名 (2 名)
その他 (看護師・栄養士)	11 名 (2 名)

看護職+介護職について

常勤職員数 46 名

非常勤職員数 5 名 (常勤換算 2.5 名)

※計算式：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数 ÷ 当該事業所の常勤職員が勤務すべき時間数

(非常勤職員の有資格者数は () に記入)

② 前年度職員の研修実施・派遣状況 参加人数：延べ 65 名

研修名称・主催者等
別添 1

- ③ 常勤職員の平均年齢 42 歳
- ④ 常勤職員の男女比 男性 32 % 女性 68 %

⑤ 期待する職員像（職員に求めている人材像や役割）

- 施設理念を理解し、その実践に前向きに日々務める職員。
- 利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重し、生活の質の向上に努める職員。
- 分野ごとのプロ意識を持って、質の高いサービスが提供できるよう、研修・研究に励み、専門性の向上に努める職員。
- 地域社会の一員としての自覚を持ち、関連分野との連携を強化すると共に、国際的視野にたち、相互の理解を深め、福祉の推進に資するよう努める職員。
- 地域の一員として、社会的責任の自覚を持ち自己開発に努める職員

【サービスの内容に関する事項】

①理念・基本方針

運営理念：

- 高齢者や児童が気軽に安心して利用できる施設であること
- 施設利用者や施設入所者本位の施設であること
- 常に地域とともに、地域に開かれた施設であること

基本方針：

- 利用者や入所者に対し、常に人間としての尊厳を尊重し適切な処遇計画のもと、自立した日常生活が営めるように努める
- 施設の特徴を生かし、地域間交流・世代間交流・施設間交流を図り、地域・利用者・入所者・家族・職員の相互交流に努める
- 職員は利用者処遇に関する技術向上に向けて自己研鑽に努める
- 日本赤十字社運営の福祉複合施設として、実習生等を積極的に受け入れ福祉人材育成の一助に努める
- 地域・学生・赤十字奉仕団体等のボランティアを積極的に受け入れ各福祉サービスを提供する者との交流を通して相互連携に努める

②本来事業に併設して行っている事業

- （例）救護施設における通所事業（定員5名）
- 通所介護（老人デイサービスセンター 定員1日35人）
 - 居宅介護支援センター
 - シルバーハウジング生活援助員派遣事業（39世帯）
 - 児童館（つどいの広場）
 - 老人憩の家

【定員及び現在の利用者の状況】

- ① 定員 100 名
- ショートステイ定員 5 名
- ② 前年度の稼働率（延べ利用者数 ÷（定員×365日）×100）
- 入所 99 % ショートステイ 91.1 %
- ③ 前年度の退所者数（短期入院での再入所は除く）

内訳：在宅復帰 名

他の施設への入所 名（施設種別内訳）

病院への入院 1 名

死亡 16 名

その他 名

④ 現在の利用者

・年齢別入所者数

60歳未満	60～69歳未満	70～79歳未満	80～89歳未満	90歳以上	合計
1 名	2 名	21 名	34 名	42 名	100 名

・サービス利用期間の状況

～1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上
18 名	37 名	29 名	16 名	0 名	0 名

(平均利用期間： 5年)

・ショートステイの現在の利用者数 5 名

・男女比 男性 18 % 女性 82 %

・平均年齢 87.2 歳

・要介護度等の内訳(高齢者サービスの場合)

要介護度の内訳

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
0 名	0 名	0 名	3 名	23 名	38 名	36 名	100 名

障害高齢者の日常生活自立度

障害なし	J	A	B	C	計
0 名	0 名	7 名	42 名	51 名	100 名

認知症高齢者の日常生活自立度

認知症なし	I	II	II a	II b	
0 名	1 名	名	5 名	12 名	
III	III a	III b	IV	M	計
名	12 名	21 名	48 名	1 名	100 名

・障害の程度(救護施設の場合)

身体障害程度の内訳

1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	認定なし	計
名	名	名	名	名	名	名	名	0 名

知的障害程度の内訳

1級	2級	3級	4級	認定なし	計
名	名	名	名	名	0 名

精神障害手帳の有無

有り	なし
名	名

重複障害の状況

精神+身体	精神+知的	身体+知的	精神+身体+知的	計
0 名	0 名	0 名	0 名	0 名

- ・車椅子を常時利用している人 96 %
(計算式：車椅子を常時利用している人数÷現員数×100)
- ・おむつ使用者 常時 48 % 夜間のみ 31 %
(計算式：常時使用者÷現員数×100、夜間のみ使用者÷現員数×100)
- ・何らかの拘束を行っている人 0 % (拘束理由は問わず何らかの拘束の対象となっているもの)
(計算式：身体拘束を行っている人数÷現員数×100)

【施設の状況】

① 建物の状況

(1) 建物面積	4,470 m ²		
	入所(通所)者1人あたり 43.18 m ² (延べ床面積÷定員)		
(2) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1 はい	<input type="checkbox"/> 2 いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1 はい	<input type="checkbox"/> 2 いいえ
(3) 建築(含大改築)年	平成	10年	

② 居室の状況

・居室数

1人部屋	2人部屋	3人部屋	4人部屋	その他
室数	室数 5	室数 ー	室数 24	室数
設備等	設備等 冷暖房設備、 シャワー、トイレ、 洗面台、収納棚	設備等	設備等 冷暖房設備、 シャワー、トイレ、 洗面台、収納棚	設備等

・定員1人あたりの居室面積

11.55 m² (入所者1人あたり 11.55 m² : 居室面積合計÷定員)

【苦情対応】

- 窓口設置 あり なし
- 第三者委員の設置 あり なし

【サービスの提供内容に関する特色等】

①健康管理

嘱託医師回診週1回	精神科医師回診月2回	健康診断年1回
-----------	------------	---------

②食事

	時間帯	場所	備考
朝食	8:00～	各フロアーホール	
昼食	12:00～	フロアーホール	
夕食	18:00～	フロアーホール	

食事嗜好品等の工夫
利用者個々の嗜好を出来るだけ反映できる様、食事時間のフロアー訪問にて、摂取状況・声かけ聞き取りで嗜好の把握に努めて摂取量の改善に努める。
旬の食材・行事食や季節食を取り入れて、食事時間を楽しんで頂く。

③入浴回数・時間

月～土	14:00～17:00（週2～3回）	
日	14:00～	希望者、毎日浴者、ショート修了者、月曜日朝病院受診予定者

④入浴施設・体制

○特殊浴	2名で介助	(1名～2名で着脱)
○一般浴	1名～2名で介助	(1名～2名で着脱)
○同性介助	基本	

⑤機能訓練

○利用者やご家族が希望する生活を実現する為に、工夫や練習をする。
○関節痛を緩和する為、専門のマッサージ師を採用してマッサージに努める。
○機能訓練は、カンファレンスで協議した上で、日常生活でも行えるようにしている。

⑥地域との交流

○四世代交流運動会・ふれあいもちつき大会（明治・大正・昭和・平成生まれの0歳～104歳までの交流）
○地域公開講座（職員による救急法等の出張・無料講習、作業療法士による筋力トレーニング、栄養講習）
○民生委員定例会への参加
○青少協主催：夏まつり準備及び参加
○施設主催：小学校をまき込んだ平和学習、砂川恵理歌ふれあいコンサート

⑦施設の公開・見学

○那覇第一民生委員・児童委員協議会（毎月定例会）へのデイルーム提供
○千葉県船橋市議会、長野県信濃長民生員児童委員、北谷町民生児童委員、東京都調布市議会、佐賀中部広域連合議他10団体（別添3） 人数219名

⑧ボランティアの受入

・平成 22 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数） 585 名

○赤十字奉仕団	（週2回×2名・洗濯物たたみ等）
○赤十字奉仕団	（月2回×2名・利用者との話し相手）
○一般 個人	小学生、高校生、大学生、専門学校生、社会人
○団体・グループ	レクダンスサークル、口笛サークル、憩の家三線、ガールスカウト

⑨実習生の受け入れ

・平成 22 年度における実習生の受け入れ数（実数） 147 名

介護実習、介護職員基礎研修課程、ヘルパー2級課程、相談員実習（社会福祉、援助実習） 短期大学生、四大学生、小中学生職場体験、高校生インターシップ

【料金】（介護保険サービスの1割負担額以外の平均的な利用料）

内容	食費	1日/1,380 円	（ 41,400 円/月・回）
内容	居住費	1日/ 320 円	（ 9,600 円/月・回）
内容	貴重品管理費	1日/ 50 円	（ 1,500 円/月・回）

【事業所からのコメント】

1. 理念・基本方針の確認
 - ・施設利用者や施設入所者本位の施設である事。
 - ・職員は利用者処遇に関する技術向上に向けて自己研鑽に努める。
 - ・施設の特長を生かし、地域間交流・世代間交流・施設間交流を図り、地域・利用者・家族・職員間の交流に深める。
 - ・実習生等を積極的に受入れ福祉人材育成の一助に努める。
 - ・地域・学生・赤十字奉仕団等のボランティアの受入れと育成を行う。
2. 期待する職員像
 - ・地域の一員として、社会的責任の自覚を持ち、自己開発に努める事が出来る職員。
3. 経営環境の変化への対応

介護保険制度が開始されて約10年が経過し、老人福祉施設は、利用者が施設やサービスを選択する時代となっている。

医療的なケアや、利用者の重度化や認知症の増加などにも対応した、専門的で質の高い介護サービスの提供に努める。

当施設の常勤職員は、介護福祉士の資格を70%有資格者であり、定着率も良い。

また、入所稼働率は99%、在宅利用者のニーズに応じて、ショートステイ床及び空床を利用し効率的な稼働を図っており、経営状況は平成10年の設立時から継続し安定している。

しかし、施設の老朽化により将来の建替えの整備計画を策定し、経営の効率化、経費の節減を図り、必要資金の計画的な確保に努める。
4. サービス提供の考え方

利用者第一主義

課題：当施設は3つのフロアーに分かれている為、職員の連絡・連携等がスムーズに行かないケースが多々見られる。解消にあたって、今年の4月に、各フロアーへ介護長・介護主任を配置し連携を図っている。
5. 力を入れて取り組んでいる点
 - ・地域間交流・世代間交流・施設間交流の強化。
 - ・専門的な口腔ケアの充実。
 - ・レクリエーションの充実。
 - ・ボランティア受入れの強化。
 - ・災害時の利用者安全の為、訓練等の実務を強化。
6. サービスの維持・向上への取り組み
 - ・研修委員会を設置し、職員の質の向上・技術の向上に努めている。
7. 意見箱及び第三者委員を設置している。